

Discovery Loop：AI研究開発を加速する「発見の工場」の誕生

創業チームの強みとミッション



世界最高峰のフルスタック・チーム

分散システム、計算基盤、基盤モデルの各分野を代表する4名が結集しました。



公益目的会社（PBC）としての設立

短期的な株主利益だけでなく、科学や社会への長期的貢献を定款に掲げます。

代表的なプレイヤー

Discovery Loopへの意味

層（レイヤー）

巨大IT・基盤モデル
(Tech Giants/Foundation Models)



Google (AI co-scientist)
最大の潜在饒合であり、資本・計算資源の提供者。

研究自動化プラットフォーム
(Research Automation Platforms)



Sakana AI (AI Scientist)
アイデア生成から論文化までを自動化する先行事例。

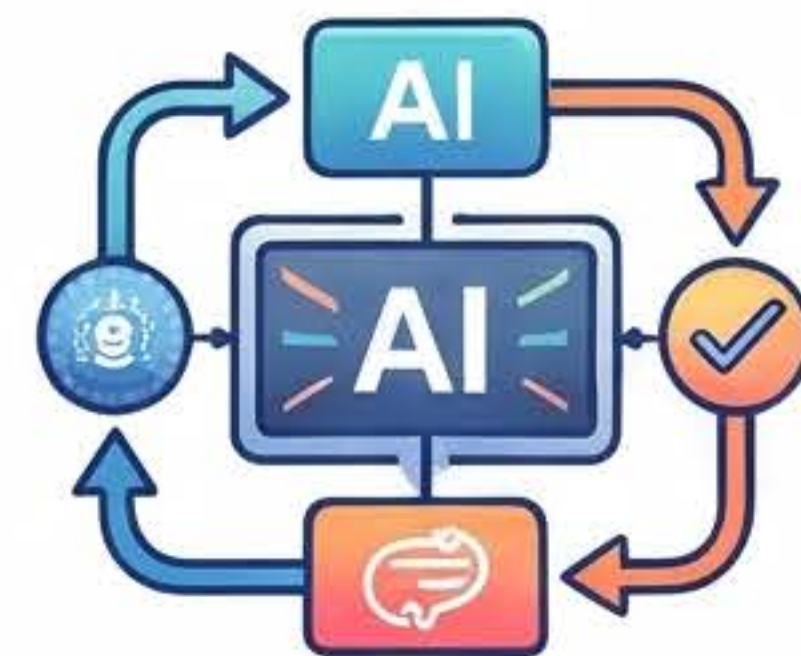
科学領域特化型
(Domain-Specific Science)



FutureHouse (Robin)
物理世界（生命科学等）の実験・検証における専門性。



戦略的アプローチと今後の展望



「自社を最初の顧客」にする戦略

まず自社のML研究を自動化し、その成果でAI性能を自己改善させます。



再帰的自己改善（RSI）への足掛かり

AIがAI開発を改善し続ける、継続的な能力増幅の仕組みを目指しています。

成功を左右する5つの運用能力

自動評価の妥当性、再現性、計算効率、実行統制、累積的な改善が不可欠です。

